

M. and Nakajima T.: Effects of ozone and photochemical oxidants on interferon production by rabbit alveolar macrophages. *Bull. Environm. Contam. Toxicol.* **24**: 433-438, 1980.

18) 鏡森定信, 成瀬優知, 岡田 晃他7名: 高血圧の発病に関する都市住民の10年間の Cohort Study, *公衆衛生* **44**: 69-75, 1980.

19) 鏡森定信, 成瀬優知, 有泉 誠他9名: 循環器疾患の Risk Factor に関する研究(3)—眼底出血の頻度と予後—, *日本公衆衛生雑誌* **27**: 313-321, 1980.

20) 鏡森定信, 岡田 晃, 飯淵康雄: 日英の主要疾患死亡の因子分析による比較研究—職業別 S M R による共通因子の検討—, *民族衛生* **46**: 43-51, 1980.

21) 入部美則, 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男, 永原良美, 太田和子, 藤井正男: 潜在性鉄欠乏状態の指標としての血清フェリチンの検討, *北陸公衆衛生学会誌* **7**: 64-72, 1980.

22) Kagamimori S., Scott M. P., Brown D. G., Edwards R. E. and Wagner M. M. F.: Effects of chrysotile asbestos on mononuclear cells in vitro. *Br. J. Exp. Path.* **61**: 55-60, 1980.

◆ その他

1) 渡辺正男: カドミウム汚染と喫煙について, *N S クラブ会報*, **44**. 5, 昭55. 10.

2) 富山医科薬科大学保健医学教室・公衆衛生学教室編: *社会医学実習報告書*, 第1集, 1980. 8.

3) 渡辺正男: 保健医学の課題, *北陸と公衆衛生*, 第12号: 1-2, 1980. 7.

◆ 学会報告

1) 松永明信, 小林 寛, 渡辺正男: 人乳中の重金属含有量について, 昭和54年度東海北陸ブロック衛生化学部会, 1980., 名古屋.

2) 城石和子, 中田仁三, 渡辺正男, 庄司美樹, 狐塚 寛: イタイイタイ病要観察者の β_2 ミクログロブリンに関する検討, *イタイイタイ病およびカドミウム中毒に関する研究班会議*, 1980. 3, 東京.

3) 西野治身, 城石和子, 渡辺正男: イタイイタイ病要観察者における血清中アミノ酸について, 同上.

4) 渡辺正男, 城石和子, 西野治身, 岩田 隆, 新村哲夫, 中田仁三, 田中朋子, 村瀬 均, 庄司俊雄, 山崎茂一: 米飼料によるマウスのカドミウム慢性影響, 同上.

5) 松永明信, 渡辺正男: 人乳中の重金属含有量, 第50回日本衛生学会総会, 1980. 4, 大阪.

6) 西野治身, 城石和子, 渡辺正男: カドミウム汚染地域住民の血清中アミノ酸について—イタイイタイ病要観察者—, 同上.

7) 成瀬優知, 浜田 仁, 鏡森定信, 渡辺正男, 柴田忠良, 佐藤光信: 奇形発生要因に関する研究—先天性股関節脱臼発生に対する感染性要因—, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

8) 鏡森定信, 窪田道男, 中谷喜彦, 岡田 晃: アスベストおよびベリリウムの Antibody Dependent Cell-mediated Cytotoxicity (in Vitro) 系への関与, 第53回日本産業衛生学会, 1980. 5, 仙台.

9) 金木丈干, 鏡森定信, 成瀬優知, 長井洋子, 中川 茂, 岡田 晃: 脳卒中登録システムからみた後遺症の実態と関連要因の retrospective study, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

10) 入部美則, 永原良美, 鏡森定信, 渡辺正男: 学童期(女子)の貧血と血清フェリチンについて, 同上.

11) Okada A., Kagamimori S., Nohara S., Miyamoto N., Ariizumi M., Naruse Y. and Watanabe M.: Epidemiological Study on Immunoglobulin (E) in Relation to Mites and Ascaris. *The 10th International Congress on Tropical Medicine and Malaria*, 1980. 11, Manila.

公 衆 衛 生 学

教 授	加須屋	実
講 師	寺 西	秀 豊
助 手	青 島	恵 子
助 手	加 藤	輝 隆
文部事務官	山 本	広 志

◆ 原 著

1) Teranishi H. and Kasuya M.: The effects of phthalate esters on fibroblasts in primary culture. *Toxicol. Lett.* **6**: 11-15, 1980.

2) Aoshima K. and Kasuya M.: Interactions between mercuric chloride and sodium selenite on cultured rat cerebrum. *Toxicol. Lett.* **6**: 181-186, 1980.

3) Kasuya M.: Toxicity of butylbenzyl phthalate (BBP) and other phthalate esters to nervous tissue in culture. *Toxicol. Lett.* **6**: 373-378, 1980.

4) Kasuya M.: The effect of methylcobalamin on the toxicity of methylmercury and mer-

curic chloride on nervous tissue in culture. Toxicol. Lett. 7: 87-93, 1980.

5) Yamamura K. Aoshima K. Hiramatsu S. Hikichi T. and Hiramatsu S.: An investigation of the effects of impulse noise exposure on man—Impulse noise with a relatively low peak level. Eur. J. Appl. Physiol. 43: 135-142, 1980.

6) Yamamura K. and Aoshima K.: An investigation of biological response induced by intermittent noise (Trapezoidal noise). Eur. J. Appl. Physiol. 44: 9-16, 1980.

7) 寺西秀豊, 右田俊介: ASLO活性を示したIg A myeloma 蛋白, 日本血液学会雑誌 43: 842-849, 1980.

8) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 橋本竹二郎, 河野昭一, 狐塚 寛: 大気環境の評価に関する Microgeographical Study (I)—集落レベルでのスギの活力および大気汚染度の検討—北陸公衛誌 7: 25-35, 1980.

9) 寺西秀豊, 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 成瀬優知, 山田裕一, 野原聖一, 岡田 晃: 抗原性帰化植物の花粉アレルゲンとその人体影響(第5報) ブタクサ花粉, ヨモギ花粉およびセイタカアワダチソウ花粉間の共通抗原性の検討, 北陸公衛誌 7: 44-48, 1980.

10) 鏡森定信, 加藤輝隆, 河野昭一, 水野徳美, 岡田 晃, 渡辺正男: 大気環境の評価に関する Microgeographical Study (II)—赤外カラー航空写真による植物活力と人の呼吸器症状—北陸公衛誌 7: 35-43, 1980.

◆ その他

1) 加須屋 実: 予防医学と薬, 家庭薬新聞, 第1282号, 1980.

2) 加須屋 実: 高齢化社会の医療問題, とやま県医報, 797号, 4-7, 1980.

3) 保健医学教室, 公衆衛生学教室編: 昭和55年度, 社会医学実習報告書, 第1集, 昭和55年8月.

◆ 学会報告

1) 青島恵子, 加須屋 実: カドミウムとセレンの培養ラット大脳組織における相互作用, 第50回日本衛生学会総会, 1980. 4, 大阪.

2) 加須屋 実, 寺西秀豊: オフィス気中の塩化ビニル・モノマー, 第23回日本産業衛生学会北陸甲信越地方総会, 1980. 10, 福井.

3) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤輝隆: ナシ人工授粉作業者にみられた花粉症について, 第23回日本産業衛生学会北陸甲信越地方総会, 1980.

10, 福井.

4) 寺西秀豊, 加須屋 実, 加藤輝隆, 鏡森定信, 野原聖一, 水野徳美, 岡田 晃, 西 正美: 学童のブタクサ花粉症に関する疫学的研究—5年間の観察—, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

5) 青島恵子, 加須屋 実: カドミウムと亜鉛の培養ラット小脳における相互作用, 第39回日本公衆衛生学会総会, 1980. 10, 千葉.

6) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 狐塚 寛, 橋本竹二郎, 河野昭一: 指標植物を用いた低濃度大気汚染地域の環境評価—スギの活力低下と学童の呼吸器症状有症率について—, 第7回環境汚染物質とそのトキシコロジーシンポジウム, 1980. 11, 神戸.

7) 青島恵子, 浅田礼子, 大田良子, 窪田博道, 窪田裕子: 勤労婦人の妊娠・出産について, 第8回北陸公衆衛生学会, 1980. 11, 富山.

8) 寺西秀豊, 山本広志: 空中花粉の検索—医薬大屋上の落下花粉—, 第2回富山アレルギー研究会, 1980. 11, 富山.

法 医 学

教 授 大 谷 勲
助 手 籠 谷 秀 翁
教 務 員 中 村 功

◆ 著 書

1) 大谷 勲: 窒息, 総論および各論, 97-125, 血液型, 209-242, 親子鑑定, 258-274, 学生のための法医学, 城 哲男他共同執筆, 南山堂, 1980.

◆ 原 著 (第3輯記載洩れを含む)

1) Sawada H., Yokoi T., Asano S., Komoriya H. and Ohya I.: Analysis of the process of cell degradation induced by Triton X-100 in Ehrlich ascites tumor cells. The Journal of Toxicological Sciences 4: 327-340, 1979.

2) 大谷 勲, 中園一郎, 須山弘文: 頭髮付着血液の経時変化, 犯罪学雑誌 45: 165-171, 1979.

3) Ohya I., Fukae T. and Suyama H.: Differences in susceptibility to alkali denaturation of various human hemoglobin components. Act. Crim. Japon. 45: 172-176, 1979.

4) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 今井忠之, 須山弘文: 神経組織および血液からの酵素型判定に及ぼす熱および腐敗の影響, 犯罪学雑誌 46: 147-156, 1980.

5) 松田健史, 森沢佐蔵, 大谷 勲, 籠谷秀翁: 一見古代人骨を観を呈する白骨の鑑定例, 法医学の実